

< 第5回 OCHA 神戸事務所 所長 吉田明子氏 >

国際緊急人道支援

OCHA = 適切で迅速な支援を行っている

病人は? 状況は? どこで? 誰が必要? 何が必要? いくらかかる? 誰が負担する?

◦ 一番困っている人はどこにいて、どのくらいの人数がいて誰が金銭的負担をして支援するのか?

国連デー 10/24

◦ 国連と人道支援

↓
日本 = 80番目の加盟

人道

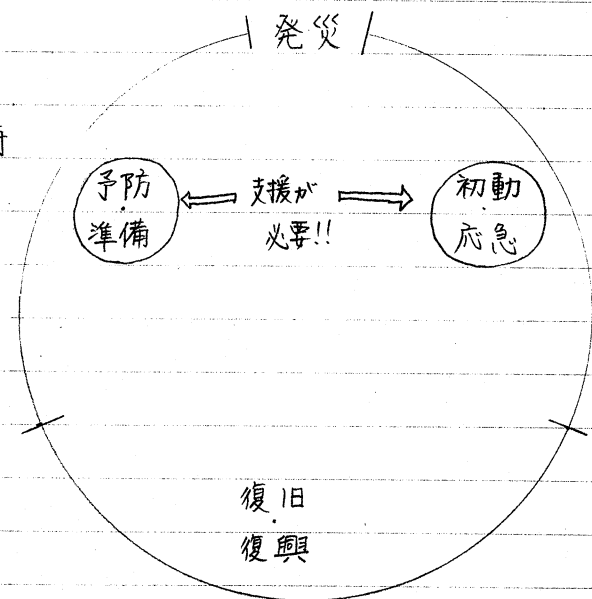
人権

→ 人が生まれながらにもっている

↓
支援の基本原則

災害サイクル

- ・ 準備期
 - ・ 発生時
 - ・ 救急対応期
- 支援が必要とされる時



< 国連憲章 >

第1章 目的及び原則

(第1条-3) 経済的、社会的、文化的または人道的性質を有する国際問題を解決することについて、並びに人種、性、言語または宗教による差別なくすべての者のために人権及び基本的自由を尊重するように助長奨励することについて、国際協力を達成すること。

- 人道支援の基本原則
 - 「人道原則」
 - 「公平原則」
 - 「中立原則」
 - 「独立原則」

◦ 復旧・復興は?

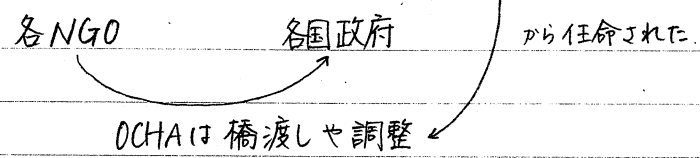
< 人道支援を巡る現状認識 ~ 外務省 HPより ~ >

1. 人道危機の長期化と複雑化
2. 自然災害の頻発化及び大規模化
3. 紛争の形態及び当事者の多様化
4. 人道支援の形態の多様化

◦ 支援の輪 ... ローカル → ナショナル → インターナショナル と広がっていく。
 「友だち作成」... 二国間
 「ASEAN」... 地域共同体
 「国連」... 多国間

国連 > 国連事務局 > OCHA

> 総会 毎年9月 一般討論会



事例)

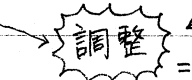
★ ストップショット
 ◦ フリピン 2013/11/8 台風 被災 130万人 自宅外避難 400万人

被害の状況によってニーズは異なる

★ クラスタアプローチ
 「人道プログラム・サイクル」 ◦ ネパールの かつマズ地震

1. ニーズの調査と分析
2. 戦略対応計画の策定
3. 資源の動員
4. 実施とモニタリング
5. 活動業務の見直しと評価

滞るとはよく
サイクルを廻す



= OCHAの仕事

「いてもいなくても同じなら、仕事として必要ない」

考えられるあらゆる不安に対して対策する。
 ・季節(雨季) ・感染症 ・政治的理由

すべての不安点に対して対策し支援にあたる。

◦ 避難所でコレラが発生したという情報に対して...

- 感染症を広げてはいけない
- 感染症患者が出て、クラスターが起ること、関連する団体(家族・村など)や個人への差別が起る可能性



「絶対にクラスターを起してはいけない」
 と考え対策や実施などの行動をした。

<OCHAが目指すもの>

人道危機に見舞われた人が速やかに適切な支援を得られるように
 あらゆる人が力を合わせる。

世界の人道状況

- ・世界で人道支援を必要としているのは、4.3億人。しかし、国際機関のターゲットは2.6億人と約半分。
- ・人道危機の平均継続年数は9年。短いと思えるかも知れないがそれでも年々長期化している。
- ・人道危機の主要因は紛争。紛争は貧困・医療・教育と様々な指標で遅れを取る要因となる。
- ・国内避難民は難民よりも数が多く、約4600万人いとされる。その多くは自然災害で、その国の中で対応が必須。
- ・一番支援金を必要としているのはシリアで、次いで、イエメン、コンゴととなっている。シリア4000億、イエメン3600億、コンゴ2500億
- ・最も自然災害に曝されているのはアジア太平洋地域で、全体の80%とも言われる。
- ・サイクロンイダいの災害発生後6日間で90万人がコレラの予防接種を受けた。大規模なキャンペーンの効果である。
- ・SEAとは Sexual Exploitation and Abuse = 性的虐待のこと。大きな問題となっている。
- ・WHOの情報において、2019年に攻撃を受けて殉職をした医療従事者は2日に1人が亡くなっている状態である。

○ OCHA → 2100名職員 10分の1
 イムス → 24000名

仕事について思うこと

- ・どんな優しさが人の心に残り、その人を型作るものになり得るのか。
- ・対象がどんな苦しみを抱えているか
- ・優しくありたい。優しく接したい。→ 人に対する感謝の気持ちや、いたわりの気持ちも優しくである。
- ↳ 避難所をしっかりと運営する
 - ・人数・年齢・性別まで把握し管理
 - ・他の所と異なり皆穏やか

「今ありたいとする姿」が難しいと思ふときは、自分の生活や周りの人を見直す。

→ 転機が見える
 応援してくれる人がいる
 やり遂げている人がいる } 今だに見えなかった事が見えるようになる。

世界人道デー 8/19

人道支援のために働く

人達を称える日

2003年の痛ましい事件

← 4.3億人の人々が支援を必要としているのは分かっているが絞っている。

← どれも、私達は当たり前で、受けているものが得られればいる。

← シリアにおいては、その周辺国においても支援が必要となっていて、周辺国では6300億円の支援金が必要といわれている重大な問題となっている。

← 汚染された水や食糧が原因で、脱水症状から命を落とす

← 今回のコロナにおいても考えられる。とても危険な仕事とも言える。

・しっかりと管理が出来ているから穏やかでいられる？

食糧や医療に関しても不安が軽減される

ただしはりつけるだけの管理ではない。

↓ つまり

対象だけでなく、全体を

「理解」し「把握」する

これからの日本における大切な事

＜受援＞ ← 先進国は受ける事が少ない。

東日本や熊本の際は国内の準備や支援で足りていた。

南海トラフでは足りなくなる可能性も...

災害発生後初動2時間は大切で重要な時。

その時に国際支援を受けるにあたって、

日本が上手に受援できるように準備をしておく事が大切

＜感染症＞ パンデミックレスポンスが重要。

パンデミックに対して準備できる余裕を持つ事が大切

経験や記憶を風化させない事も大切。

＜医療従事者＞ 海外で活動するから素晴らしい訳ではない。

国内でもしっかりと活動することも素晴らしい。

↳ 自分で疲弊しない } 国の内外関わらず
 ・自信を持って活動する } これが大切。

調整の専門家

↳ だからこそ対象者が本当に必要なのかが分かり、

そのために何が出来るのかが考えられる。

・何が一番重要なのかわれずに考えられる。

・基本的に忠実に行動しようと思う

・政治的問題から理想が叶えられない事に葛藤している

松原